



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理企画本部長 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,385	14.6	980	52.3	882	46.2	641	43.2
2019年3月期第2四半期	3,825	5.3	644	28.1	603	57.7	448	62.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 619百万円 (45.4%) 2019年3月期第2四半期 425百万円 (67.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45.19	45.16
2019年3月期第2四半期	31.43	31.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,731	17,230	82.9
2019年3月期	21,600	17,485	80.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,191百万円 2019年3月期 17,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
2020年3月期	—	10.00			
2020年3月期（予想）			—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,260	8.1	2,200	8.4	1,950	3.4	1,420	0.3	99.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	14,355,100株	2019年3月期	14,344,100株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	256,621株	2019年3月期	21株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	14,200,479株	2019年3月期2Q	14,253,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、医薬品事業、感染管理事業共に増収となったことから、対前年同期比14.6%増の4,385百万円となりました。売上総利益につきましては、増収影響等から、対前年同期比18.0%増の3,112百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング強化に伴う販売費の増加等により、対前年同期比6.9%増の2,131百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益につきましては、対前年同期比52.3%増の980百万円となりました。経常利益につきましては、為替差益の減少等があったものの、対前年同期比46.2%増の882百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、対前年同期比43.2%増の641百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、対前年同期比8.2%増の2,705百万円の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、主力の「セイロガン糖衣A」を中心に堅調に推移したこと等により、対前年同期比で増加となりました。また、パッケージリニューアルした「ピシヤット下痢止めOD錠」の発売も売上高増加に貢献しております。

海外向けの売上高につきましては、香港市場向けを中心に、前年同期を上回って推移しました。なお、中国市場向けは第2四半期連結累計期間の出荷は無く、第3四半期連結会計期間以降の出荷を計画しております。

セグメント損益につきましては、マーケティング強化による広告宣伝費等の増加を、増収影響等で吸収したこと等により、対前年同期比2.1%増の1,034百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、対前年同期比27.3%増の1,675百万円の売上高となりました。

国内一般用製品の売上高につきましては、前期より開始したマーケティング戦略によるブランド力アップを背景として、「クレベリン 置き型」を中心に堅調に推移し、また、新ブランド「クレベ&アンド」の製品を発売したことにより、対前年同期比で増加となりました。

国内業務用製品の売上高につきましては、オフィス向けの需要が好調に推移したこと等により、対前年同期比で増加となりました。

海外向けの売上高につきましては、台湾市場向けを中心に堅調に推移し、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、増収影響等により、対前年同期比176.0%増の434百万円の利益となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比51.9%減の4百万円となり、セグメント損益につきましては、12百万円の損失（前年同期は18百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は20,731百万円（前連結会計年度末比868百万円減）となりました。負債合計は3,500百万円（同613百万円減）、純資産合計は17,230百万円（同255百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産662百万円の減少、未払金の減少、未払法人税等及び賞与引当金の減少等による流動負債645百万円の減少、剰余金の配当及び自己株式の取得等による純資産255百万円の減少等であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末から2.1ポイント上昇し82.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より1,215百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,977百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は78百万円（前年同期は231百万円の獲得）となりました。主に税金等調整前四半期純利益882百万円、減価償却費238百万円、仕入債務の増加537百万円等の増加要因の一方で、たな卸資産の増加685百万円、未払金の減少373百万円、法人税等の支払額369百万円、賞与引当金の減少額246百万円、役員賞与引当金の減少額65百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は100百万円（前年同期は1,107百万円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得による支出87百万円、無形固定資産の取得による支出47百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,168百万円（前年同期は217百万円の使用）となりました。主に自己株式の取得による支出540百万円、自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出280百万円、配当金の支払額358百万円等の減少要因によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,225,302	5,977,437
受取手形及び売掛金	3,645,574	3,224,458
商品及び製品	878,685	1,503,306
仕掛品	358,665	391,489
原材料及び貯蔵品	303,032	330,364
その他	187,631	506,120
貸倒引当金	△27,000	△24,000
流動資産合計	12,571,893	11,909,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,060,547	2,955,152
機械装置及び運搬具(純額)	458,190	402,588
土地	1,820,047	1,820,047
建設仮勘定	1,751,140	1,774,355
その他(純額)	281,572	317,903
有形固定資産合計	7,371,497	7,270,046
無形固定資産	237,630	263,884
投資その他の資産		
投資有価証券	740,589	737,924
その他	678,580	550,284
投資その他の資産合計	1,419,169	1,288,208
固定資産合計	9,028,297	8,822,139
資産合計	21,600,191	20,731,317
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,007	1,044,213
未払金	902,561	522,244
未払法人税等	440,798	146,129
返品調整引当金	191,000	201,000
賞与引当金	329,865	82,850
役員賞与引当金	65,641	—
その他	382,378	184,505
流動負債合計	2,826,253	2,180,943
固定負債		
長期末払金	549,500	549,500
退職給付に係る負債	699,735	718,232
その他	39,202	52,308
固定負債合計	1,288,438	1,320,041
負債合計	4,114,692	3,500,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,312	788,891
資本剰余金	982,700	995,279
利益剰余金	15,579,225	15,862,326
自己株式	△25	△539,854
株主資本合計	17,338,212	17,106,643
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	107,410	85,115
その他の包括利益累計額合計	107,410	85,115
新株予約権	39,876	38,575
純資産合計	17,485,498	17,230,333
負債純資産合計	21,600,191	20,731,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,825,730	4,385,494
売上原価	1,134,694	1,263,003
売上総利益	2,691,036	3,122,491
返品調整引当金戻入額	150,000	191,000
返品調整引当金繰入額	203,000	201,000
差引売上総利益	2,638,036	3,112,491
販売費及び一般管理費	1,993,841	2,131,660
営業利益	644,194	980,831
営業外収益		
受取利息	1,886	2,378
受取配当金	4,521	1
為替差益	33,122	611
受取賃貸料	9,570	1,178
その他	3,561	2,369
営業外収益合計	52,664	6,539
営業外費用		
支払利息	—	237
賃貸費用	2,323	979
未稼働設備関連費用	89,457	103,041
その他	1,499	688
営業外費用合計	93,280	104,947
経常利益	603,577	882,423
特別利益		
投資有価証券売却益	500	—
補助金収入	10,730	—
特別利益合計	11,230	—
税金等調整前四半期純利益	614,807	882,423
法人税、住民税及び事業税	111,035	111,367
法人税等調整額	55,762	129,353
法人税等合計	166,798	240,720
四半期純利益	448,009	641,703
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,009	641,703

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	448,009	641,703
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△22,085	△22,295
その他の包括利益合計	△22,085	△22,295
四半期包括利益	425,924	619,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,924	619,407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	614,807	882,423
減価償却費	219,961	238,935
補助金収入	△10,730	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△500	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,618	18,496
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	53,000	10,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212,933	△246,965
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△82,382	△65,641
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,000
受取利息及び受取配当金	△6,408	△2,380
支払利息	—	237
為替差損益 (△は益)	△10,537	1,782
売上債権の増減額 (△は増加)	118,504	414,949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△229,282	△685,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	324,834	537,791
未払金の増減額 (△は減少)	△100,516	△373,689
未払又は未収消費税等の増減額	△28,463	△92,255
その他	△167,177	△191,810
小計	504,795	443,545
利息及び配当金の受取額	6,725	5,182
利息の支払額	—	△237
法人税等の支払額	△280,059	△369,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,461	78,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43,842	—
定期預金の払戻による収入	—	32,140
有形固定資産の取得による支出	△232,280	△87,402
無形固定資産の取得による支出	△118,348	△47,424
投資有価証券の取得による支出	△725,033	—
投資有価証券の売却による収入	500	—
補助金の受取額	10,730	1,700
その他	881	805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,107,392	△100,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△9,164	△13,703
配当金の支払額	△355,485	△358,237
新株予約権の行使による株式の発行による収入	147,280	23,857
自己株式の取得による支出	△3	△540,368
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	—	△280,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,372	△1,168,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,919	△25,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,101,223	△1,215,381
現金及び現金同等物の期首残高	6,547,511	7,192,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,446,287	5,977,437

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式256,600株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が539,828千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が539,854千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,500,181	1,315,493	10,055	3,825,730	—	3,825,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,500,181	1,315,493	10,055	3,825,730	—	3,825,730
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,013,758	157,408	△18,817	1,152,349	△508,155	644,194

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,705,406	1,675,252	4,835	4,385,494	—	4,385,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,705,406	1,675,252	4,835	4,385,494	—	4,385,494
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,034,730	434,488	△12,221	1,456,997	△476,165	980,831

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。